

人 チーム 制度



人事・総務部 初の女性管理職！
“駆け込み寺”の制度化をめざして

やましろうようこ
日本工営株式会社 山城 容子さん

今回ご紹介するのは日本工営株式会社で給与業務に携わる山城容子課長です。現在、8歳の女の子と男の子の、双子のお子さん育てていらっしゃいます。

これまでの経歴を簡単に教えてください。

入社して6年ほど、採用・研修業務に携わった後は、一貫して給与業務を担当しています。昨年11月に、人事・総務部の課長になりました。

ご自身も双子の子育てをされながらの管理職。不安はありませんでしたか？

もちろんありました。課長にならないかという話を最初に頂いたとき、「ただでさえ時間の制約があり四苦八苦している中、管理職なんて務まるのかしら・・・」と悩み、考える時間を頂きました。家族や友人に相談したところ、「せっかくの話なのだからやってみた方がいいよ！」と後押しされたこともあり、意を決し受けることにしました。

課長就任後、仕事のやり方など、変わったことはありますか？

仕事のやり方そのものは、大きくは変わっていないと思います。ただ、とにかく出席しなければならない会議が増えたので、時間のやり繰りはこれまで以上に大変になりました。会議の途中で、退社しなければならなくなったこともあります。

また、課長になったことで、全く面識のない社内の方からの問合せがぼんぼん届くようになりました。その問合せ内容も、必ずしも自分の担当分野ではないことが多いので、内容を整理して担当者につないで・・・という対応を突発的に迫られることが増えました。

プロフィール

氏名 : 山城 容子
所属 : コーポレート本部
人事・総務部課長
居住地 : 埼玉県越谷市
家族構成 : 夫、
長女(小3)、長男(小3)

経歴

1993年7月	人事部にて採用・研修業務を担当
1999年4月	人事部にて給与業務を担当
2003年7月	シェアードサービスセンターにて給与業務を担当
2007年9月	産前産後育児休業取得
2008年9月	育児休業より復帰、人事・総務部にて給与業務を担当
2015年11月	人事・総務部課長 現在に至る

まさに「人事・総務部の顔」ですね。課長として、今後やりたいことはありますか？

これまでも給与業務を担当してきたことで、産育休を取得した大多数の女性社員に対し、給与関連のお手伝いをしてきました。そのため、給与のこと以外にも、職場の大小ある悩みごとの相談などを個人的に受けることが多々あります。



いってらっしゃい！のハイタッチ

せっかく課長という立場にある今、この“駆け込み寺”的役割を、社内の制度として定着させていけたらいいなと考えています。具体的には、産育休に入る前や復職前に、ご本人と所属長、そして私の3者で、法的な決め事や社内の制度をご説明し共通認識としてもって頂いた上で、ご本人と上司の方の希望をすり合わせていく、といったことです。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？

子どもが生まれてから、仕事も家庭も周りのサポートがないと先に進めないことを痛感しています。サポートが必要な方に手を差し伸べることができる、そんな心のゆとりを常に持てるといいな、と思います。

ある1日のスケジュール

5時00分	6時30分	7時30分	8時00分	9時00分	17時30分	18時45分	19時00分	20時00分	20時40分	21時00分	22時00分	23時00分
起床 洗顔	子供を起す 朝食の用意 洗濯物を干す	夫・子供達出発 朝食 小学校の持ち物準備	炊飯予約 着替え お化粧	出勤 お化粧	勤務開始 今日の予定確認 メールのチェック	勤務終了 明日の予定確認	学童お迎え 夫に帰るメール	帰宅 宿題を見ながら夕食準備	夕食	夜の家事 夕食片付け	お風呂 寝かしつけ	就寝 自分の時間